

本校のコース改編



校長 宮城静子

本校は平成9年に特進コースと特スポコース、平成14年にITコースが開設されて以来コース制の特色を打ち出すのに尽力してまいりましたが、大きな実を結ぶには至っておりません。その上、平成28年度入学生からクラス一減になり一学年5クラスで4コースを存続していく意義がうすくなっております。

現在の本校の生徒達に必要なことは基礎学力テストのGTZやQ-Uアンケートの結果、また日頃先生方が感じていることから判断して**基礎学力を定着させ、自己肯定感をもたせる**ことです。そこで、全ての生徒に基礎学力を定着させ、自己肯定感をもたせ、個々の生徒の進路を実現させるために職員が一丸となってコース制の見直しを行いました。検討、審議、調査、研究を重ねた結果、義務教育段階のまなび直しも含めて**基礎学力の定着を強化するコースと大学進学に特化したコース**の二つを設置することにしました。それが従来の普通、IT、特スポを統合した**普通コース**（定員160名）と単独存続の**特進コース**（定員40名）です。普通コースは高校入学後でも自分の興味・関心に従って自分のキャリアを自らデザイン出来るコースです。特進コースは大学進学という共通目的をもった生徒の集団で4年生大学受験対応の学力を保障するために様々な手立てが施されるコースです。

上述のコース改編に伴い職員と生徒のビジョンをより実現可能にできるよう教育課程も改革しました。主な改革点は1年生において**英数国**を標準単位より増やしたことです。それによって**まなび直し**とより**丁寧な指導**を可能にしました。基礎学力をゆるぎのないものにするので平成31年度高等学校基礎学力テストに向けた取り組みができます。また2、3年普通コースでは**家庭総合**（4単位）を継続履修させます。これは将来自立した生活ができるよう「生きる力」を培う取り組みで主に食育、子育て、ライフプランニングの分野を扱います。**理科**は2年、3年普通科に学校設定科目を設定し義務教育レベルからの実験を中心に授業を実施します。**社会**は3年生普通科の政治・経済を一単位増やし主権教育を施し社会に対応できる人材を育成します。特進コースは大学入学試験に対応できる教育課程を工夫しました。我々は新教育課程のもとで一つの**授業**に命を吹き込み生徒が「わかる授業」「参加する授業」を实践すべく尽力します。（若干の変更点は出てくるかも知れません。）

変わるのはまだあります。生徒指導体制が「懲戒指導等の**生徒指導**に重きを置く」から「進路実現のための**進路指導**に重きを置く」に変わります。これは女生徒のスカート丈正常化、問題行動の減少、遅刻生徒数の激減、進路決定率90%、国公立4名合格が物語っています。

最後に本校は校門に一步足を踏み入れればそこから **Tominan** ワールドが開け、不可能と思われたことを可能にする学校を目指していきます。

平成28年7月22日(金)